

令和5年度 第1回浜松市障がい者自立支援協議会市全体会  
次 第

日 時 令和5年10月23日(月)  
午前9時30分から  
開催方法 浜松市役所北館1階  
101・102会議室  
ZoomID 851 5940 6727  
パスワード 553975

1 開 会

2 議 事

- (1) 第4次浜松市障がい者計画(案)について  
第7期浜松市障がい福祉実施計画及び第3期障がい児福祉実施計画(案)  
について・・・・・・・・・・・・・・・・(資料1)
- (2) エリア連絡会活動状況報告・・・・・・・・(資料2)  
北エリア連絡会  
浜北・天竜エリア連絡会  
中エリア連絡会  
西・南エリア連絡会  
東エリア連絡会
- (3) 専門部会活動状況報告  
・こども部会・・・・・・・・(資料3)  
・生活部会 強度行動障害支援ワーキング・・・・(資料4)  
・就労部会 就労アセスメントワーキング・・・・(資料5)
- (4) 地域生活支援拠点等検証委員会について・・・・・・・・(資料6)
- (5) 日中サービス支援型グループホームの評価について(資料7)
- (6) その他  
・他会議報告  
精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会(資料8)  
医療的ケア児等支援協議会・・・・・・・・(資料9)

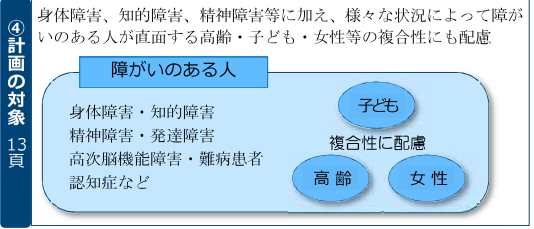
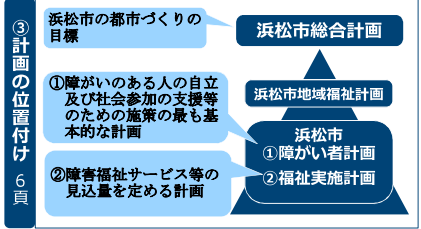
3 閉 会

第4次浜松市障がい者計画案 概要

**①基本理念 17頁**  
**誰もが住み慣れた地域で支え合い、希望を持って安心して暮らすことができるまち**

**②基本目標 18頁**

- I 地域で安心して暮らすための地域社会への理解促進
- II 自己決定と自己選択の尊重
- III 地域生活を支えるためのサービス提供基盤のさらなる充実
- IV ともに支え、ともに暮らす地域でつながる“輪”づくり



**⑤計画の期間 13頁**

浜松市障がい者計画/6年・障がい福祉実施計画/3年  
 障がい者計画は障害者基本法第11条、障がい福祉実施計画及び障がい児福祉実施計画は障害者総合支援法第88条及び児童福祉法第33条の20に基づく計画

R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | R11年度 ~

**第4次浜松市障がい者計画 R6~R11年度(6年)**

第7期福祉実施計画  
 第3期児童福祉実施計画  
 R6~8年度(3年)

浜松市総合計画(基本構想) H27~R26年度

**⑥現状と課題**

- 障がい福祉に関するアンケート調査では「嫌な思いや配慮に欠けるといった対応の経験」について「ある」と回答した人が22.2%となっており、障がいのある人の差別解消に向けた取り組みを積極的に推進する必要があります
- 障がいのある人の抱える課題が多様化・複雑化する中で、相談を包括的に受け止め、支援関係機関が連携して対応するとともに、多様なニーズに対応できる相談支援体制の更なる充実を図ることが求められています
- 障がいのある人の高齢化が進み、本人やその家族が地域での生活に不安を抱えていることが多くなっており、安心して地域で暮らすことができる環境づくりが求められています
- 近年、台風や豪雨等の様々な自然災害が全国で発生し、災害発生時に障がいのある人が安全に避難するため、災害時・緊急時に助け合えるように平時からの関係づくりが必要です
- 障がいの有無にかかわらず、各ライフステージを通して、できる限り身近な地域で、子どもたちが触れ合いながら育つことができる環境が求められています

**⑦背景 10頁**

○近年の主な障がい福祉施策の動向

- 国の「障害者基本計画(第5次)/R5~R10年度
- 障がいのある人の自立及び社会参加の支援等のための施策の最も基本的な計画(地域社会における共生、差別の禁止、国際的協調)
- 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律の成立/H30.6
- 文化芸術活動を通じた障がいのある人の個性と能力の発揮及び社会参加の促進
- 読書バリアフリー法の成立/R1.6
- 視覚障がいのある人等の読書環境の整備を推進し、障がいの有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられる社会の実現に向けた読書バリアフリー施策の推進
- 社会福祉法の改正/R2.6
- 自治体主導の下で地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築として重層的支援体制整備事業が新たに規定

- 障害者差別解消法の改正/R3.5
- 障がいのある人に対する不当な差別的取り扱いの基本的な考え方や具体例の規定、事業所による障がいのある人への合理的配慮の提供の義務化
- 医療的ケア児等支援法の成立/R3.6
- 相談支援や情報提供、関係機関と連携した支援体制を整備すること、学校において医療的ケアその他の支援を行うため看護師等の配置
- 児童福祉法の改正/R4.6
- 児童発達支援センターの役割及び機能の強化として、児童発達支援センターが地域における障がいのある児童支援の中核的役割を担うことを明確化
- 障害者総合支援法の改正/R4.12
- 障がいのある人等の地域生活の支援体制の充実、障がいのある人の就労支援および障がいのある人の雇用の質の向上の推進
- 精神保健福祉法の改正/R4.12
- 地域生活の支援の強化等による精神障がい者の希望やニーズに応じた支援体制の整備を推進

**⑧重点施策の取り組み 23頁**

1 差別の解消・権利擁護の推進

- ①障がいを理由とする差別の解消の推進
- ②成年後見制度利用支援の促進
- ③関係機関との連携による虐待防止の取り組み

2 相談支援体制の整備ときめ細かな相談支援の充実

- ①重層的な相談支援体制の推進
- ②地域生活支援拠点等の体制整備
- ③相談支援専門員の資質向上
- ④浜松市障がい者自立支援協議会の効果的な運営

3 地域生活への移行に向けた体制整備

- ①支援体制の整備
- ②個別支援の充実

4 地域における防災対策の推進

- ①災害時における支援体制の整備
- ②個別避難計画の策定支援
- ③避難支援対策の推進

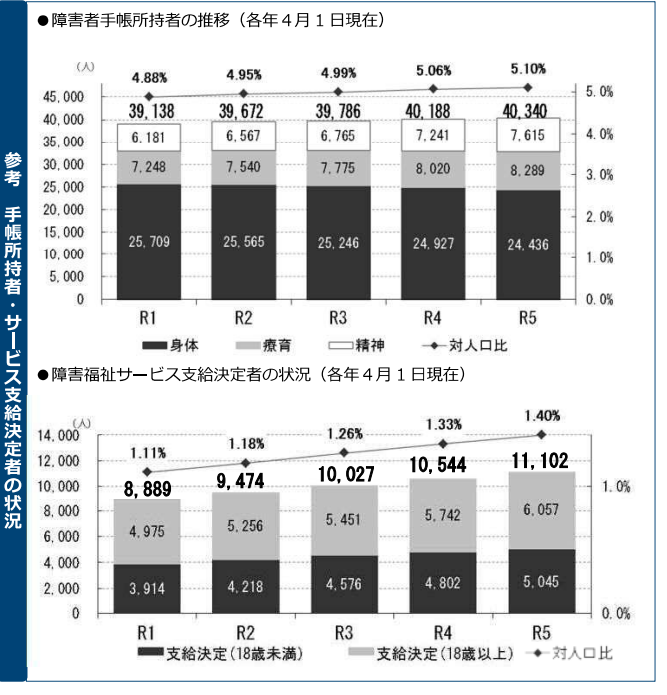
5 関係機関と連携した子どもと家庭に対する支援体制の強化

- ①相談支援の充実
- ②地域における支援の充実
- ③関係機関との連携の強化

**参考**

<PDCAの実施> ①計画:Plan ②実行:Do ③評価:Check ④改善:Act  
 障害者施策推進協議会や障がい者自立支援協議会を中心に、定期的に調査、分析及び評価を行い、必要に応じて計画の変更や見直し等の措置を行います

分野別	取り組み項目	主な取り組み
<b>1 理解促進</b> ○関係機関との緊密な連携のもと、互いの人格と個性を尊重し支え合い「共生社会」の理念について更なる普及を図ります	(1)障がいに対する理解促進 (2)人材育成と活動支援 (3)差別の解消	○障害者週間キャンペーンの実施(障害保健福祉課) ○各種奉仕員養成講座の開催(障害保健福祉課、中央図書館) ○ユニバーサルサービス研修の実施(UD・男女別共同企画推進課) ○障害者差別解消法に基づく相談対応(障害保健福祉課)
<b>2 生活支援</b> ○自らが望む暮らしを実現できるよう、個々のニーズや実態に応じた適切な支援を提供します	(1)権利擁護の推進 (2)相談支援体制の充実 (3)地域生活への移行の促進 (4)地域生活支援の充実 (5)経済的な支援	○成年後見制度の利用支援(障害保健福祉課) ○重層的な支援体制整備事業の実施(福祉総務課) ○介護給付等事業の実施(障害保健福祉課) ○地域生活支援拠点等による地域で支えるサービス提供体制の構築(障害保健福祉課) ○各種手当の給付(障害保健福祉課)
<b>3 保健・医療</b> ○障がい・疾病に関する知識等の普及・啓発を図り、早期発見に努めるとともに、身近な地域において、保健・医療・福祉の連携した支援の提供体制の充実を図ります	(1)保健・医療、リハビリテーションの充実 (2)精神保健福祉の推進	○乳幼児健康診査の実施(健康増進課) ○医療的ケア児等相談支援センターの運営(障害保健福祉課) ○精神障がいに対応した地域包括ケアシステムの構築(障害保健福祉課) ○こころの問題に関する相談の実施(精神保健福祉センター)
<b>4 生活環境</b> ○暮らしやすい環境づくりに向けてユニバーサルデザイン化を推進するとともに、安心して暮らすことができるよう防災対策の充実を図ります	(1)福祉のまちづくりの推進 (2)防災対策の推進	○公共建築物のユニバーサルデザイン化の推進(施設所管各課) ○災害時における自助、共助、公助の啓発(危機管理課) ○避難行動要支援者への支援(障害保健福祉課) ○防災訓練の共同実施(障害保健福祉課)
<b>5 療育・教育</b> ○子どもが夢や希望をもって暮らせるよう、家庭を含めた支援を充実します。関係機関と連携して、各ライフステージ通じて、一貫したきめ細かい支援を実施します	(1)早期発見・早期療育の推進 (2)発達支援教育の推進 (3)放課後等の支援の充実 (4)卒業後の自立に向けた支援	○発達相談支援センター「ルビロ」の運営(子育て支援課) ○サポートかけはしシートを活用した連続性のある療育の推進(障害保健福祉課) ○障害児通所支援事業の実施(障害保健福祉課) ○福祉事業所フェアの開催(障害保健福祉課)
<b>6 雇用・就労</b> ○一人ひとりが働く能力や個性を活かし、生きがいと働きがいのある生活の実現を図ります	(1)就労支援と雇用促進 (2)福祉就労に対する支援	○就労相談の実施(障害保健福祉課) ○ジョブサポートセンター事業の実施(産業振興課) ○官公需の発注促進(障害保健福祉課)
<b>7 情報・コミュニケーション</b> ○社会のあらゆる場面において、障がいの特性に配慮した、情報の取得及び利用並びに意思疎通にかかる支援を推進します	(1)情報提供の充実 (2)コミュニケーション保障の推進	○障がい特性に配慮した広報紙等の作成(広報広報課) ○読書バリアフリーサービスの充実(中央図書館) ○コミュニケーション支援事業の実施(障害保健福祉課)
<b>8 社会参加</b> ○誰もが、地域活動やスポーツ・文化活動、余暇活動等に参加することを通じて、地域生活の充実を図ります	(1)外出支援 (2)地域活動への参加の促進 (3)スポーツ・文化活動、余暇支援	○移動支援事業の実施(障害保健福祉課) ○障がい者団体活動助成事業の実施(障害保健福祉課) ○浜松市障害者スポーツ大会の開催(スポーツ振興課)



## 北エリア連絡会

テーマ	地域課題の抽出と解決に向けた協議
R4活動から 見えてきた成果 及び課題	<p>○事例検討部会 個別の事例検討を実施すると同時に地域課題の抽出を行い、3年間部会で検討したケースについて状況確認を行った。事例提供をする事業所が限定化していることもあり、事例検討部会の活動の周知や理解が必要だということになる。</p> <p>○こども部会 エリア内の小中学校・福祉サービス事業所へ対応困難ケースについてヒアリングを実施。ヒアリングを行う中で、エリア連絡会にこどもの支援について相談できる機能があることの周知が必要だということになる。I機関で抱えることなく、地域でこどもの支援を検討できるよう、地域の小学校のこどもについて事例検討を実施。</p> <p>○北区を知らう部会 当事者が希望する余暇活動に耳を傾け、地域の社会資源情報（余暇活動）を集約し、地域で生活されている方が活用できる準備を行った。 既存の余暇活動の活用以外にも、当事者が主体的に考える余暇活動も必要なのではないか？</p> <p>○強度行動障害児者支援WG エリア内の強度行動障害児者の実態を把握。強度行動障害の方や、ご家族が安心して生活できる地域を目指しているが、チームで支えていく仕組みづくりが不十分。また、障害児入所施設からの移行に困難さがある。</p>
R5活動内容 および 今後の方向性等	<p>○事例検討部会 エリア内の事業所に、部会活動の目的や内容を周知するとともに、より良い支援を部会内で検討することを希望する事業所を把握。また、エリア内の他部会やWGで行っている事例検討の集約も事例検討部会で行うことでエリアの課題が明確化していくことを目指す。</p> <p>○こども部会 前年度同様、小中学校・福祉サービス事業所へのヒアリングを行うことで連携を深め、事例検討を継続的に実施。</p> <p>○北区を知らう部会 余暇活動情報を、計画相談の相談員等と共有。部会メンバーが橋渡し役になりながら必要に応じてつなげていく。また、当事者が希望する余暇活動を高齢者サロンの方と共に”おたのしみ交流会”として実施予定。</p> <p>○強度行動障害児者支援WG 地域の生活介護事業所にて事例検討を企画・実施中（2回）、生活介護事業所の見学会を企画・実施中。 また、入所施設からの移行については、対象児童が少しでも集団の中で生活しやすくなるよう、今行うことができる支援を検討していく予定。</p>

令和4年度にエリア連絡会につながった個別支援会議の件数

6

件

浜北・天竜エリア連絡会

テーマ	地域課題の抽出と解決に向けた協議
<p>R4活動から 見えてきた成果 及び課題</p>	<p>部会名：課題解決部会『特別支援学校在学の肢体不自由児（医ケア児等含む）卒業後の進路の課題検討会』</p> <p><b>【取り組み】</b>                      ①進路状況や生活介護事業所の現状について共有しつつ、生活介護事業所の受入れの裾野を広げるためにエリアとして取り組めるものについて協議。                      ②①の協議を経て看護師向けのアプローチの必要性に関する意見が挙げられる。その意見からエリア内における生活介護事業所と訪問看護ステーション看護師向けに肢体不自由児者（医ケア含む）の支援の現状に関するアンケート調査を実施。                      ③アンケート調査結果を踏まえ、日々の支援におけるノウハウの共有に間する意見が伺えた。また看護師個人では受け入れをしたい気持ちはあるものの、体制上（組織上）困難であるとの意見も複数伺う事ができた。まずは受け受入れの裾野を広げるキッカケ作りとして『看護師交流会』を開催。</p> <p><b>【成果】</b>                      ・情報共有の場を設けることにより、特別支援学校と事業所間で円滑なやりとりが可能となった。                      ・看護師交流会を開催し、部会の成り立ちから経験豊富な看護師（障害者生活介護施設ふれんず：川合施設長（交流会開催当時））からの講話、事業所（ふれんず）見学、意見交換会を通して、看護師同士のネットワークの構築や医療的ケアの受入れについて、少しでも裾野を広げられるキッカケづくりとなった。参加者からは、管理者へ報告をしながら、自事業所で出来る事を検討していきたいとの意見を聞くことができた。</p> <p><b>【課題】</b>                      ・現状、取り扱っている課題については、当エリアのみの課題ではなく、他エリアでも同様の課題と言える状況。そのため、全市的な課題として取り扱うべきものと捉えている。当部会で取り扱っている内容については、全市的な課題として取り扱うべく協議の場が担保できるよう調整が必要と考える。</p>
<p>R5活動内容 および 今後の方向性等</p>	<p>・構成員でもある基幹相談（オブザーバー）にもご助言いただき、今年度、全市的な取り組みへの移行を見据え、当部会の機会を活用しつつ、新たに浜名特別支援学校、他エリア内の肢体不自由児者（医ケア含む）を主に支援されている事業所にも参画いただき検討の場を設けていく予定。案内は既に送付済みであり参加者の出席状況報告待ち。</p> <p>○開催日：令和5年11月17日（金）10:00～                      ○場 所：浜北区役所3階 大会議室</p>

令和4年度にエリア連絡会につながった個別支援会議の件数

0 件

中エリア連絡会

テーマ	地域ネットワークの構築
R4活動から 見えてきた成果 及び課題	<p>テーマ名「日中支援型グループホームとの意見交換を通して」</p> <p>○活動：R4年度エリア連絡会にて、エリア内2か所の日中支援型グループホームと意見交換を実施。意見交換会実施前には、全体会構成員対象に見学会を行い、イメージを具体化した。</p> <p>○成果：意見交換会を通して、地域との関係強化に取り組んだグループホームあり。</p> <p>○課題：事業所へのフィードバックの場において、職員の人材育成・質の向上は、共通する課題であることが共有された。今後、エリア連絡会としてもグループホーム職員向けの研修を検討する。また、グループホームについて、知る機会を増やすことを検討。</p>
R5活動内容 および 今後の方向性等	<p>○今年度活動内容</p> <p>①人財部会活動として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア内に所在するグループホーム（日中支援型・包括型）の見学会を通して、事業所の特徴を知ったり、地域とのつながり等について共有する。</li> <li>・グループホームを利用している当事者の生活の様子や日々の思いを聞く機会として「グループホームで暮らす当事者のお話を聞く会」を開催予定。</li> </ul> <p>②その他活動として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームスタッフ向けミニ研修会開催。当事者家族の声を聞き、日々の支援活かす事を目的に講話および意見交換会実施（8月25日）。当日は16名参加。多くの参加者より、「大変参考になった」との意見とともに、今後、さらなる研修会や情報共有の場への期待が寄せられた。</li> </ul> <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者や当事者家族の思いをお聞きすることで、日々の支援に活かす。</li> <li>・事業所同士のつながりや情報共有の場を通して、ネットワークの構築をすすめる。</li> </ul>

令和4年度にエリア連絡会につながった個別支援会議の件数

2 件

西・南エリア連絡会

テーマ	地域課題の抽出と解決に向けた協議
<p>R4活動から 見えてきた成果 及び課題</p>	<p><b>【目的】</b>                      ・就労定着支援利用時におけるアセスメント方法の検討。                      ・就労定着支援終了後の支援体制の構築。</p> <p><b>【成果】</b>                      ・計画相談等が抱える困難ケースの把握をすることでサービス利用の実態が見えてきた。地域課題の抽出と解決に向けての協議につなげることができた。                      ・就労定着支援を含めた支給期間が定められているサービスについて、サービス利用中から終了後を見据えたアセスメントをすることの重要性が確認できた。</p> <p><b>【課題】</b>                      ・就労定着支援ケースにおけるアセスメントの機会や視点の共有。</p>
<p>R5活動内容 および 今後の方向性等</p>	<p><b>【活動内容】</b>                      ・就労定着支援モデルケースを選定しアセスメントにおける視点を検討。</p> <p><b>【今後の方向性】</b>                      ・エリア連絡会（主に相談支援部会を想定）にてモデルケース取り組みの報告。視点の共有を図る。</p>

令和4年度にエリア連絡会につながった個別支援会議の件数

2

 件

東エリア連絡会

テーマ	困難事例の共有
<p>R4活動から 見えてきた成果 及び課題</p>	<p>【R4年度機能強化事業の相談対応件数108件】 R4年度関係機関から困ったケースや社会資源に関する相談が108件寄せられた。特に困難であったり、専門的な見立てを必要とするケースは担当者を招いて事例検討会を行った。</p> <p>【子どもアセスメントツール普及啓発事例検討会】 エリア連絡会の活動として、地域の児童支援を行う事業所、行政、学校を構成員とし、年間5回の事例検討会を行った。ツールを使用するとともに、見立てから支援の方向性を探る必要性や重要性について意見が聞かれた。</p> <p>【東センター事例検討会】 センター主催の事例検討会を年12回実施した。基幹、当センター、必要に応じて関係機関に事例を提供して頂いたり、参加していただいた。</p> <p>上記のことから、困難事例が数多く存在しており、対応に苦慮していることがうかがえた。事例発表者からはケースの見立てが立たず、支援の方向性がみえないなかで、事例検討を行うことにより、支援の方向性を見いだせたという意見が聞かれた。</p> <p>次年度に向けて、ケースの成育歴、生活歴をもとに、見立てをたて、支援に生かしていく流れを事例検討会で扱っていくこととした。本年度は少人数で行っていた為、次年度はエリア内の事業所全体を対象として、事例検討会の参加の機会を設定していく。</p> <p>また、事例検討から地域課題を抽出し検討する流れを意識していく。</p>
<p>R5活動内容 および 今後の方向性等</p>	<p>【研修(事例検討会)及びネットワーク会議】 昨年度の経緯から、9月に東エリアの研修として事例検討会を実施した。エリアの研修とすることで対象とする支援者の方の範囲が広がり、23事業所に事例検討の機会が提供できた。また、ネットワーク会議を併せて行うことで東エリア内の事業所同士の顔が見える関係性の構築や情報交換もできるよう配慮した。</p> <p>参加者の感想として事例を深める機会となったこと、自事業所で担当するケースについても検討をしていきたいという意見が聞かれた。次回は1月開催を予定しており、研修参加者に向けて事例提供について声掛けを行い、8ケースの相談があった。</p> <p>【子どもアセスメントツール普及啓発事例検討会】 前年度同様に開催をした。構成員事業所の若手職員の参加が少ない状況である為、徐々に対象範囲を広げて東エリアの事業所の参加について検討を行っていく。現状ツールを現場で使用することまでつながっていない様子がみられるため、今後の目標として、より現実的にツールを使用できるよう、聞き取りの場面のイメージがつく研修を組むことや、見立てをたて、支援に生かす流れがイメージできることを目標とする。</p> <p>【東センター事例検討会】 前年度同様年間12回開催をしていく。必要に応じて関係機関に参加していただく。</p>

令和4年度にエリア連絡会につながった個別支援会議の件数

1 件





ふりがな 児童名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日	( 歳 )

記載日	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 回目
記載者	

		不明	チェック項目	特記事項	
把握	① 関係機関	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 幼稚園 <input type="checkbox"/> 保育所 <input type="checkbox"/> こども園 <input type="checkbox"/> 児発 <input type="checkbox"/> 放デイ <input type="checkbox"/> 健つ <input type="checkbox"/> 生保 <input type="checkbox"/> 児相 <input type="checkbox"/> 家児相 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	② 妊娠中の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 重度のつわり <input type="checkbox"/> 妊娠高血圧症候群 <input type="checkbox"/> 予期せぬ妊娠 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	③ 出生時の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 低体重 <input type="checkbox"/> 先天性疾患 <input type="checkbox"/> 保育器利用 <input type="checkbox"/> 退院時母子別々 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	④ 乳児期の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 3か月微笑無 <input type="checkbox"/> 人見知り⇒ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 過敏 <input type="checkbox"/> 後追い行動⇒ <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 過敏 <input type="checkbox"/> 睡眠の状況⇒ <input type="checkbox"/> 寝つきが悪い <input type="checkbox"/> 夜泣き <input type="checkbox"/> 不規則 <input type="checkbox"/> 過眠 <input type="checkbox"/> 気になる癖、行動、過敏さ <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	⑤ 乳幼児健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 乳幼児健診のフォロー有⇒ <input type="checkbox"/> 4か月 <input type="checkbox"/> 10か月 <input type="checkbox"/> 1歳6か月 <input type="checkbox"/> 3歳 フォロー内容 ( ) <input type="checkbox"/> 未受診		
	⑥ 乳幼児期の 発育状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 言語の遅れ (始語 か月頃) <input type="checkbox"/> 運動発達の遅れ (始歩 か月頃) <input type="checkbox"/> 指さし無 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	子ども	⑦ 幼児期の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 反抗現象 歳頃 <input type="checkbox"/> 療育利用有 ( ) <input type="checkbox"/> 甘え・ぐずぐずする <input type="checkbox"/> 絵本の流れが読み取れない <input type="checkbox"/> ひどい偏食 <input type="checkbox"/> 表情の乏しさ <input type="checkbox"/> 過敏さ <input type="checkbox"/> 遊び相手⇒ <input type="checkbox"/> 誰とでも <input type="checkbox"/> 兄弟姉妹 <input type="checkbox"/> 大人 <input type="checkbox"/> 1人遊び <input type="checkbox"/> 特定の子 <input type="checkbox"/> 園での交友関係⇒ <input type="checkbox"/> 誰とでも <input type="checkbox"/> 特定の子 <input type="checkbox"/> 1人遊び <input type="checkbox"/> 保育士 <input type="checkbox"/> 気になる癖、問題行動 (行事への参加状況、多動等) <input type="checkbox"/> 登園渋り <input type="checkbox"/> 迷子 <input type="checkbox"/> 遊び・興味・関心 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑧ 学齢期の状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 問題行動 <input type="checkbox"/> 不登校 <input type="checkbox"/> 学業成績⇒ <input type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 <input type="checkbox"/> 交友関係⇒ <input type="checkbox"/> 誰とでも <input type="checkbox"/> 特定の子 <input type="checkbox"/> 1人遊び <input type="checkbox"/> 上級生 <input type="checkbox"/> 下級生 <input type="checkbox"/> 遊び・興味・関心 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑨ 受診状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 専門機関未受診⇒ <input type="checkbox"/> 拒否 <input type="checkbox"/> 問題意識無 <input type="checkbox"/> 受診提案未 <input type="checkbox"/> 不定期受診 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑩ 精神状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 自傷 <input type="checkbox"/> 他害 <input type="checkbox"/> 精神的不安定 <input type="checkbox"/> 意欲乏しい <input type="checkbox"/> 表情乏しい <input type="checkbox"/> 依存傾向 <input type="checkbox"/> 人に合わせて行動する、いつもニコニコしている <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑪ 性格・行動面の 特徴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 激しい癇癪 <input type="checkbox"/> 多動、落ち着かない <input type="checkbox"/> 注意惹き行動 <input type="checkbox"/> 被害的 <input type="checkbox"/> 攻撃的 <input type="checkbox"/> 暴力的 <input type="checkbox"/> 遺尿 <input type="checkbox"/> 過食異食 <input type="checkbox"/> 虞犯行為 <input type="checkbox"/> 性的行動 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑫ 身なりや生活の 状況	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 身体衣類の汚れ <input type="checkbox"/> 非衛生 <input type="checkbox"/> 食事を摂っていないことがある <input type="checkbox"/> その他	
		⑬ 養育者への思い、 態度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 養育者の前で萎縮 <input type="checkbox"/> 養育者に関心を示さない <input type="checkbox"/> 養育者から離れられない <input type="checkbox"/> その他 ( )	
		⑭ サービス利用への 思い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 消極的 <input type="checkbox"/> 不安 <input type="checkbox"/> 拒否 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
家庭	⑮ 家族の問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 夫婦不和 <input type="checkbox"/> DV <input type="checkbox"/> 未婚 <input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/> 内縁 <input type="checkbox"/> 家族構成の変化(再婚) <input type="checkbox"/> 親族の対立や過干渉 <input type="checkbox"/> きょうだいとの関係 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	⑯ 経済問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> 失業 <input type="checkbox"/> 金銭管理ができない <input type="checkbox"/> 借金 <input type="checkbox"/> 生活困窮 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	⑰ 生活環境	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 室内が乱雑 <input type="checkbox"/> 安全確保への配慮なし <input type="checkbox"/> その他 ( )		
主な 養育者	⑱ 精神的状態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 鬱的精神症状 <input type="checkbox"/> 通院ができていない <input type="checkbox"/> 服薬ができていない <input type="checkbox"/> 依存傾向 <input type="checkbox"/> 疑いはあるが通院歴なし <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	⑲ 性格的問題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 衝動的 <input type="checkbox"/> 幼い <input type="checkbox"/> 攻撃的 <input type="checkbox"/> 偏り <input type="checkbox"/> 共感性欠如 <input type="checkbox"/> 嘘が多い <input type="checkbox"/> 人との関わりが苦手 <input type="checkbox"/> 被害的 <input type="checkbox"/> その他逃れ <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	⑳ 家事育児能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 障害のため能力低下 <input type="checkbox"/> 不器用 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 段取りの悪さ <input type="checkbox"/> こだわり <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	㉑ 子への感情・ 態度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 子どもが苦手 <input type="checkbox"/> 子どもへの関わりが薄い <input type="checkbox"/> 子どもへの関わり方がわからない <input type="checkbox"/> 過干渉 <input type="checkbox"/> 不適切養育 <input type="checkbox"/> 出産への後悔 ※子どもへの思い ( )		
	㉒ 養育知識	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 若年親 <input type="checkbox"/> 知識不足 <input type="checkbox"/> 間違った知識による養育 <input type="checkbox"/> 子どもに能力に合わない対応 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	㉓ サービス利用への 思い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 保護者の意向⇒ <input type="checkbox"/> 経済的問題 <input type="checkbox"/> 子と離れたい <input type="checkbox"/> 子の成長を期待 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
サポート	㉔ 社会的サポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 孤立的 <input type="checkbox"/> 転居 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (支援者 )		
	㉕ 支援の受け入れ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 支援に拒否的 <input type="checkbox"/> 連絡が取りづらい <input type="checkbox"/> 訪問や面談のキャンセルが続く		

ケースの強み（できていること、好きなこと、得意なこと、頑張っていること、救いになっていること、好きな人、頼りにしている人等）

--

ツールをチェックしての子どもと養育者の見立て

子ども	
養育者	

ケースについての相談員の気づき、感じたこと、ツールをチェックした結果足りなかった情報等

--

サービスとして使うことが期待される地域の社会資源や人材

過去活用	活用中	←既に活用中のものは左に○ 利用が望ましいものには右に○→	活用望ましい	過去活用	活用中	←既に活用中のものは左に○ 利用が望ましいものには右に○→	活用望ましい
		子の医学的治療				家事育児支援 <input type="checkbox"/> ファミサポ <input type="checkbox"/> はまぐり/ハ <sup>o</sup> - <input type="checkbox"/> その他	
		子の障がい認定 <input type="checkbox"/> 身障手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳				ペアトレ	
		関係機関との連携（関係機関：_____）				家族、親族等の協力（キーパーソン：_____）	
		その他（_____）				諸手当（_____）	
		障害福祉サービス <input type="checkbox"/> 児発 <input type="checkbox"/> 放デイ <input type="checkbox"/> 保育所等訪問 <input type="checkbox"/> 短期入所 <input type="checkbox"/> 日中一時 <input type="checkbox"/> 移動支援				養育者の医学的治療	
		⇒子の特性、家庭環境等から適している事業所、事業所に求めること				養育者の障がい認定 <input type="checkbox"/> 身障手帳 <input type="checkbox"/> 療育手帳 <input type="checkbox"/> 精神手帳	
						親の障害福祉サービス	
						諸手続きの付添（_____）	
						その他、養育者支援に関すること	

**浜松市障がい者自立支援協議会**  
**生活部会**  
**強度行動障害支援ワーキンググループ 進捗報告**

## 1. ワーキングの目的

浜松市における強度行動障害を有する人への支援状況等に関する実態を把握し、支援者間のネットワークを構築して、強度行動障害を有する人への支援が充実するような仕組みづくりを全市的に行うことを目指す。

## 2. ワーキングメンバー

	機関	氏名
入所施設	障害者支援施設赤石寮	清水 厚紀
通所施設	生活介護事業所工房めい	犬塚 淳
障がい児放課後支援連絡協議会	特定非営利活動法人地域生活応援団あくしす	長谷川 行信
事務局	浜松市障がい者基幹相談支援センター	雨宮 寛 大軒 優一
	浜松市障害保健福祉課 生活・就労支援グループ	青柳 聖弥

## 3. 活動内容

- ・ 浜松市における強度行動障害を有する人の実態把握調査
- ・ 浜松市における強度行動障害を有する人への支援の現状を把握し、より身近な地域での強度行動障害支援者間のネットワーク構築の必要性や、支援者をバックアップする体制等についての検討

## 4. スケジュール

令和5年 6月	調査内容の検討
令和5年 8月～10月	調査実施
令和5年10月	調査結果分析
令和5年12月	研修開催 (浜松市基幹相談支援センター事業と合同)
令和6年 1月～2月	支援者間のネットワーク構築等の検討

**浜松市障がい者自立支援協議会**  
**就労部会**  
**就労アセスメントワーキング 進捗報告**

## 1. ワーキングの目的

浜松市における就労アセスメントの仕組みについて、就労アセスメントが円滑に行われるよう、関係機関と連携して仕組みを再検討する。また、就労アセスメントの目的を踏まえ、浜松市における就労アセスメントの質の向上を目指す。

## 2. ワーキングメンバー

	機関	氏名
障害者就業・生活支援センター	障害者就業・生活支援センターだんだん	建部 晶子
計画相談	相談支援事業所ひなた	瀧本 淳子
西遠地区就業促進協議会	静岡県立浜松特別支援学校城北分校	高塚 紳宏
就労移行支援事業所	特定非営利活動法人えんしゅう生活支援 net	建木 健
事務局	浜松市障がい者基幹相談支援センター	玉木 祐次郎 大軒 優一
	浜松市障害保健福祉課 生活・就労支援グループ	青柳 聖弥

## 3. 活動内容

- ・就労アセスメントの流れについて、現状の確認と仕組みの検討
- ・就労アセスメントの質を担保するための標準化の検討

## 4. スケジュール

令和5年 9月	論点および今後の進め方について
令和5年11月～12月	計画相談への実態把握調査の検討および調査の実施
令和5年12月～ 令和6年1月	就労アセスメントの流れの検討・見直し
令和6年 2月	就労アセスメントの流れ・評価の指標作成
令和6年 3月	まとめ

※令和6年4月以降、就労部会にて新スキームや結果連絡票の検証を実施

## 地域生活支援拠点等整備検証委員会

### 1 開催日

令和5年6月16日（金）

### 2 概要

令和4年度の地域生活支援拠点検証委員会において、全市的に行っている地域生活支援拠点等の整備について、住み慣れた地域の範囲としてエリア単位でのニーズ調査や機能強化を図ってはどうかという意見が挙げられたことから、各エリアで必要な拠点機能を検証する。

また、全市的な取り組みについても、新たな体制を検討する。

### 3. 内容

#### (1) エリアでの取り組み

- ・エリアにおける緊急時対応が必要な個別ケースについて共同支援会議を実施する過程を通してエリアごとに「個々のオリジナル支援体制整備」に取り組む。



- ・各エリアでの取り組みを通して検討された「個々のオリジナル支援体制整備」から検証委員会においてエリアに必要な機能の検証を行う。

#### スケジュール

- 6月 対象とする個別ケースをエリアごとに選定
- 7月～ 「個々のオリジナル支援体制整備」に取り組む
- 11月 「個々のオリジナル支援体制整備」からエリアに必要な機能を協議
- 12月 地域生活支援拠点等検証委員会における検討会にて市全体のまとめ

#### (2) 全市的な取り組み

緊急時対応事業において、現在、短期入所事業所を利用した支援を実施。

在宅生活継続ための支援について検討していきたいため、居宅介護事業所及び重度訪問介護事業所にアンケート調査を実施。

## 日中サービス支援型指定共同生活援助の提供にかかる協議の場の設置について

### 1. 日中サービス支援型共同生活援助創設の趣旨

障害者の重度化・高齢化に対応するために創設され、短期入所を併設し地域で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとしており、入所施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されている。

### 2. 地方公共団体が設置する協議会等への報告・評価

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保を図る観点から、協議会等に対し定期的に（年1回以上）事業の実施状況等を報告し、協議会等から評価を受けると共に、当該協議会等から必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならない。

（基準省令：「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業等の人員、設備及び運営に関する基準」）

### 3. 協議の場の役割と機能

#### ① エリア連絡会との意見交換

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者は、地域に開かれたサービスとし、サービスの質の確保を図る観点から、当事者やその家族、地域の支援者等より必要な要望や助言等を聴き、その意見等を事業所の運営に活かしていただく。エリア連絡会は、日中サービス支援型指定共同生活援助事業所の状況や課題を把握することで、地域の中でどのような支援ができるのかを共に考え、お互いにより良い支援を目指す。

#### ② 企画会議での評価

エリア連絡会との意見交換をもとに、日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者に対し、評価、必要な要望、助言等を行う。

※日中サービス支援型指定共同生活援助事業所には、実施状況報告書（別紙様式）による報告を隔年で求める。日中サービス支援型指定共同生活援助事業所は、初年度の評価結果を受けて次年度に取り組み、次年度中に所定の報告様式を用いてエリア連絡会に対し中間報告を行う。

### 4. エリア連絡会での意見交換のポイント

※支援者だけでなく、当事者やその家族からの意見を積極的に吸い上げること

- ・利用者が地域において家庭的な環境及び地域住民との交流の元、自立した日常生活、社会生活を営むことができているか。
- ・利用者の意向に反してサービス等の利用を制限されることなく、適切なサービスや制度等の利用が図られているか。
- ・日中を住居で過ごす利用者が充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努めているか。
- ・重度化・高齢化ケースを積極的に受け入れているか。また、緊急時、体験的な受け入れに積極的に対応しているか。

- ・虐待や金銭管理等、利用者の権利擁護に配慮した支援が行われているか。
- ・自施設のみで抱え込まず、エリア連絡会等の地域の支援機関との連携が図られているか。
- ・意見交換が2回目以降になる事業者について、前年度の協議会からの要望・助言に対しての事業者の対応内容を確認するとともに、エリア連絡会として事業者に対してどのような支援ができたか振り返りを行う。

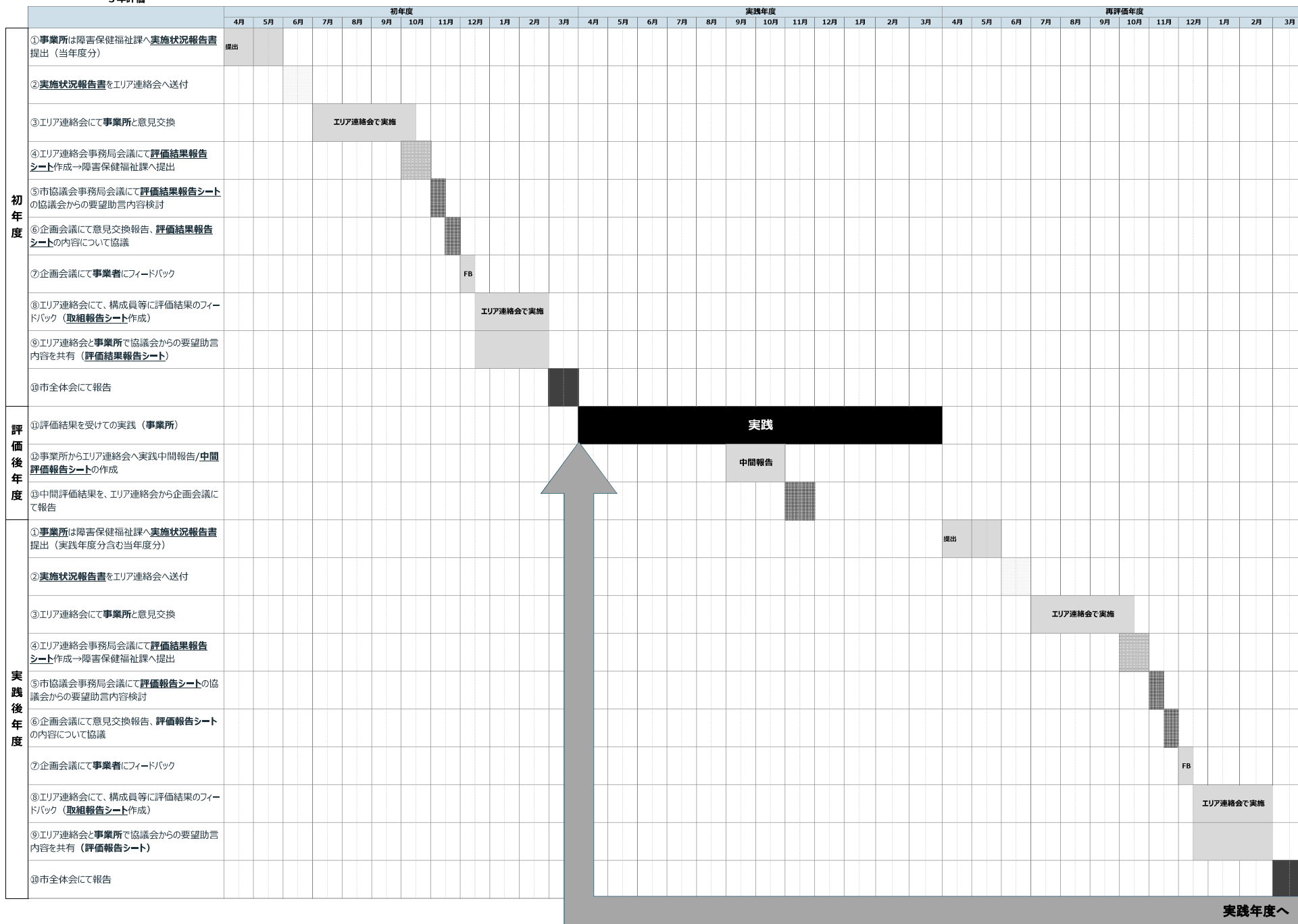
**5. 意見交換した内容の取扱いについて**

公開とする

**6. 協議の流れおよび報告様式**

別紙のとおり

日中サービス支援型共同生活援助 評価・助言 ガントチャート  
3年評価





浜松市精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム推進連絡会  
令和5年度の取組みについて（報告）

健康福祉部 障害保健福祉課

1 基本理念

精神障がいの有無にかかわらず、住み慣れた地域で希望を持って安心して暮らすことができる浜松

2 令和5年度事業推進体制

- (1) 代表者会議（関係領域の代表者レベルの会議） 年2回開催  
 (2) 企画会議（関係領域の実務者レベルの会議） 月1回開催  
 (3) ワーキンググループ

	活動の目的・内容等
実態調査 ワーキンググループ	<p>①目的 調査を通して、本市の実態把握を行い、客観的データに基づいた当事者支援の仕組みづくりの構築を図る。</p> <p>②活動内容 ・精神科病院の退院時における地域援助事業者との連携状況 ・ピアサポーターに関するニーズ調査の分析</p> <p>③活動の成果 ・精神科病院の退院時における地域援助事業者との連携状況」の調査を実施し、集計と分析を進めている。 ・「ピアサポーターに関するニーズ調査」の結果を企画会議等で共有し、地域の支援者を含めたピアサポートについての普及啓発の機会として、「ピアサポート交流会」を9月20日に開催した。</p>
事例検討 ワーキンググループ	<p>①目的 ・精神科病院からの地域移行の推進と切れ目ない支援体制の構築に向けた支援者間の連携強化を目指す。</p> <p>②活動内容 ・新たなワーキングメンバーを迎え、令和5年度のワーキング目的や活動内容について検討 ・モニタリング会議の実施 ・保健、医療、福祉それぞれの支援や役割に相互理解を図ることで、連携強化を目指す。</p> <p>③活動の成果 ・令和4年度に事例検討を行い、検討後に障害福祉サービスの利用を開始して、令和5年度に退院した事例が1事例あった。障害福祉サービスを利用したことで、本人の支援が広がり、地域の受け皿が手厚くなった。</p>

<b>ピア ワーキンググループ</b>	<p>①目的 ピア活動の活性化とピア同士のつながりを強化し、本市におけるピアサポーターの在り方を検討する。</p> <p>②活動内容 ・あすなる会（当事者グループ）の開催 ・ピア交流会の開催準備</p> <p>③活動の成果 ・9月20日に開催した「ピアサポート交流会」に当事者、支援者10名が参加し、ピアサポートについて学ぶ場となった。</p>
-------------------------	--

#### （4）研修

##### 令和5年度 精神障害者の退院後支援研修会

～みんなで考えよう・つなげよう・退院後安心して暮らせるために～

日 時：令和5年8月1日（火） 午後6時30分～8時30分

会 場：浜松市役所 101・102 会議室

内 容：退院後支援の流れについて

要保護児童対策地域協議会及び要支援児童等の情報提供について

報告「業務の中で日頃感じていること」（朝山病院・中区健康づくり課）

ワークショップ「子育て中の統合失調症患者の退院後支援」

グループワーク（各機関ができる支援の共有、連携方法について）

参加者：58名（行政：24名・医療：14名・訪問看護：3名・福祉：17名）

## 浜松市医療的ケア児等支援の取組み（報告）

### 1. 目的

日常的に医療を必要とする人たちの災害時支援の課題があがっており、令和4年度に設置した災害ワーキングにおいて、支援体制を検討する。

### 2. 内容

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時個別支援計画について</li> <li>・安否確認について</li> <li>・災害時の医療との連携について</li> <li>・災害時対応フローについて</li> </ul>
	医療的ケア児等大規模地震訓練実施（内閣府防災訓練に併せて実施）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケア児等大規模地震訓練振り返り 訓練で見えてきた課題について</li> <li>・災害時個別支援計画について</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援体制の再検討</li> <li>・災害時支援計画及び災害時対応イメージ図の再検討</li> </ul>
	情報伝達訓練実施